



自然の力を利用した 循環型「浄化槽」の提案

- 活動時期 → 適宜
- 活動場所 → 高知市
- 主な活動メンバー： 小松さん

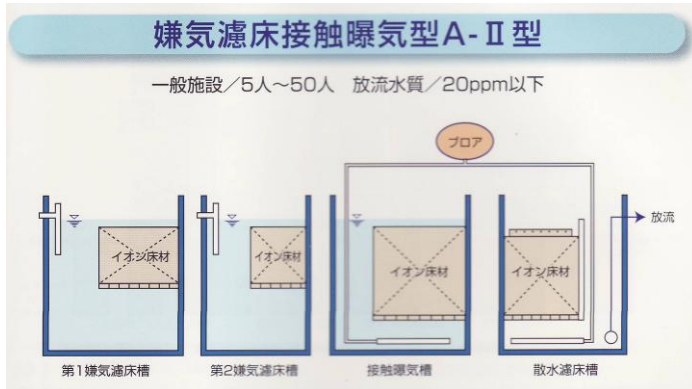
(取り組み内容)

今の浄化槽はプラスチック製品で、そこから回収した汚泥は全部燃やされてしまっている。でも本来は汚泥も循環させる必要があるという考えのもと、独自の浄化槽設置を勧めている。

◆イオン培養土を使った浄化槽

- ・イオン培養土とは、腐殖土（し尿・生ゴミなど）に火山砂・黒ボク土を混ぜ合わせたもの。これを浄化槽へ入れることでそこに微生物・虫・貝などが付き、自然の力で水を浄化してくれる。

(浄化槽のイメージ)



浄化槽の様子



中の培養土には虫や貝などの分解者が住む



循環させた水で飼われているコイ

【ポイント】

- ・微生物たちが分解してくれるため、掃除をしなくてもほとんど汚泥がたまらない。
- ・し尿→微生物→虫・貝と、食物連鎖で廻っている。
- ・浄化槽を開けても臭いがほとんどない。

◆取り組みに対する想い

- ・物質はなくならないという「物質不滅の原則」を前提に、表面でなく根本を見直し、物質を循環させていきたい。
- ・浄化とは自然の連鎖によって新しい命がうまれていくものだと考えている。
- ・水づくり（浄化）は人の暮らしだけでなく、林業・農業・漁業などの産業にも繋がっていく。

(平成21年10月現在)